

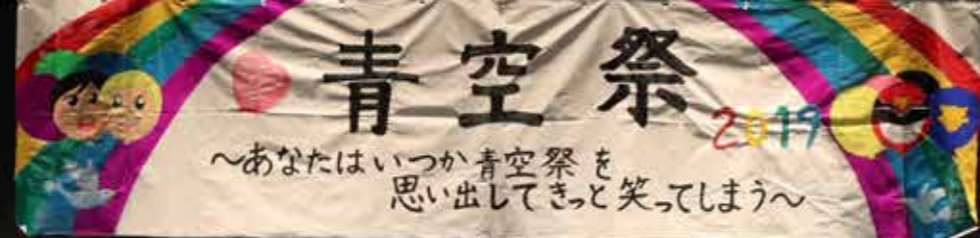
# NIIGATA SEIRYO NEWS

2020/1 No. 23



人間総合学科 人間総合コース 2年 教科発表  
第15回ファッションショー

 新潟青陵大学  
新潟青陵大学短期大学部



## 青空祭 2019 を開催しました

10月26日(土)、27日(日)の2日間にわたり、青空祭2019が開催されました。令和最初の青空祭となる今回は「あなたはいつか青空祭を思い出してきっと笑ってしまう」とのサブタイトルを掲げ、皆さんにとって「記憶に残る学園祭」とするべく準備を重ねてきました。当日はあいにくの雨天となりましたが、多くの方々にご来場いただき、大いに盛り上がった2日間でした。

### ステージ1日目

吹奏楽部ウインド・アンサンブルによる演奏で幕を開け、ファイトクラブによる空手・キックボクシングの演武が会場を沸かせます。モダンダンス・チアダンス・ストリートダンスと躍動感あふれるダンスが続いた後、ほっと落ち着くハンスビ手話部の発表で午前のステージが締めくくられました。午後は恒例のミス・ミスターコンテスト。晴れやかなドレス・スーツ姿に加えて最近話題のシミラールックや浴衣姿の着こなしに、会場中から歓声沸き起こっていました。初日の最後はサプライズイベント、地元で活動するアイドルグループとアイドルダンス部のコラボレーションによるステージです。学生たちの強い希望で実現した夢の舞台に、学外からも多くのファンが詰め掛けました。熱気あふれる公演はファンと部員にとって忘れられないひと時となったに違いありません。

### ステージ2日目

午前中はウインド・アンサンブルの演奏に始まり、アイドルダンス・ダンス部・体操ダンス部・ストリートダンスの発表です。どのグループも疲れを感じさせないエネルギッシュな踊りを披露し、初日に負けない盛り上がりを見せていました。午後はスペシャルゲストを迎えてのお笑いライブとトークイベントを開催。「新潟県住みます芸人」のチカコホンマさんが場を温めたところから、ガリットチュウのお二方が怪力芸と「せんとくん」のモノマネで満員の会場を沸かせます。続く俳優・

千葉雄大さんのトークショーでは、プライベートの過ごし方や意外な趣味にも話題が及び、会場に詰め掛けた女性ファンの熱い視線を集めていました。幸運にも千葉さんとの記念撮影とプレゼントを獲得できた女性たちの、何とも幸せそうな表情が印象的でした。きっと、ご本人たちにとって一生の記念となったことでしょう。

### 様々な展示と模擬店

総勢49のゼミやサークルから、お祭りらしい食べ物・飲み物の模擬店や日頃の学習成果を発表する展示が出そろい、会場を賑わせました。人間総合学科でファッションを学ぶ学生たちはウエディングドレスの展示で華を添え、幼児教育学科・野口ゼミはこの日に向けて練習を積んだミュージカル「まほうつかいマジョリン」を上演。小さなお子様連れで来場された方々から笑顔があふれる名演でした。看護学科で助産を学ぶ学生は、思春期の性の健康をテーマとする展示を行いました。普段は話題にしづらい性に関することを、親しみやすい雰囲気の中で伝えたいという意欲を感じる展示でした。その他にも青陵ホールで開かれたコンサート、音楽室での軽音ライブなど、校舎の隅々までバラエティに富んだ催しで埋め尽くされ、盛りだくさんの2日間となりました。

### おわりに

青空祭を実行する上で地域の企業様、大学関係者、学生より多くのご支援をいただき、このような学園祭を開催できたことに感謝申し上げます。学生たちの生き活きとした様子が「記憶に残る」学園祭となったのではないかと考えています。準備段階を含めて、実行委員が学園祭の成功に向けて協力できたこともかけがえのない思い出になりました。本当にありがとうございました。

青空祭実行委員長  
 大学学友会長 五十嵐 祐樹  
 短大学友会長 平野 美咲

## 多様な背景をもつ人々との対話に学ぶ

### ニイガタヒューマンライブラリー 2019

11月10日(日)、新潟青陵大学・短期大学部で2回目となる「ヒューマンライブラリー」が開催されました。ヒューマンライブラリーとは、「人を貸し出す図書館」を意味します。図書館で多様な本と偶然出会うように、普段の生活の中では触れ合うことのできない様々な背景を抱えた人々との直接的な対話を、一対一や少人数で体験します。北欧デンマークで2000年に始まり、現在世界90カ国以上で開催されています。

◆  
今年度は第34回国民文化祭・にいがた2019第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会 障害者芸術・文化事業のひとつとして県の委託を受け、本学の社会連携センターが実施しました。県がヒューマンライブラリーの意義をみとめ、県の事業として開催されることは日本では初めてのことです。また、「学生司書プロジェクト」として新潟青陵大学・短大から総勢30名の学生が運営に参加。短大人間総合学科・関久美子准教授の指導のもと、語り手(「本」としてお話しする方々との調整や広報活動等の準備を学生ともども進めてきました。

当日は身体的・精神的な障害や問題を抱えた方やそのご家族、セクシャルマイノリティとされる方、DVを経験された方、病気を抱えた方、福祉面での様々な支援者、特殊な職業に就いている方など20名に「本」として参加いただきました。県外を含め約150名の「読者」を迎

え、「本」の皆様との「読書(対話)」が盛大に行われました。来場者からは「自分とは異なる生き方の人と対面でお話させていただくことで、その相手の方の考え方や思いをストレートに受け止め、認めることができた」といった感想が寄せられ、対話の前後で考え方が変わった来場者も少なくなかったようです。

◆  
今回、ヒューマンライブラリーと並行し、特別企画としてコラムニスト・伊是名夏子さんの講演会と「天上の音楽〜ハートケアコンサート〜」を開催いたしました。「ママは身長100cm」等の著書で知られる伊是名さんは、「骨形成不全症」を患いながらも2人の子を出産、現在5歳と3歳になる子どもたちの育児に奮闘されています。講演では、デンマーク留学の経験や「自立すること」への伊是名さんの思いが語られました。伊是名さんは子どもに対して「自分でやりなさい」と言わないように心掛け、「自分に何ができて、何ができないか」を聞きとり、できないことをサポートする姿勢を大切にされているそうです。東京大学・熊谷晋一郎先生の「自立とは、依存先を増やすこと」との言葉を引き、「障害の有無に関係なく、何事も一人で抱え込まず、時に人を頼ることで皆が生きやすくなる」と語りかける伊是名さんに、共感の声が多数寄せられました。「天上の



音楽」は、サクソ・ピアノ奏者の日比野則彦さんと歌手・日比野愛子さんによる「いのちの希望」をテーマとするコンサートです。いのちの輝きを表現した映像をバックに、「君は愛されるために生まれた」「ユー・レイズ・ミー・アップ」「アメイジング・グレイス」などの楽曲を熱演いただきました。

◆  
一連のイベントに延300名近い方々が来場されました。新潟日報やNHKの取材もあり、この取組を多くの方に知っていただくことができました。各方面から「自分の地域やコミュニティでも開催してみたい」という声があがっており、今後も新潟においてヒューマンライブラリーのさらなる発展が期待できそうです。



コラムニスト・伊是名夏子さん



日比野愛子さん・日比野則彦さんによるコンサート「天上の音楽」

## 学生制作フリーペーパー第2弾完成!

### メディカンフリーペーパー Ricerca vol.2

11月3日(日)、本学も運営に参画している4大学メディアキャンパスから学生制作フリーペーパー「Ricerca(リチエルカ) vol.2」が発刊され、新潟日報メディアシップにて配布イベントが行われました。

Ricercaは「新潟の穴場を伝えるフリーペーパー」をコンセプトに、新潟の素敵なところを紹介する冊子です。長岡造形大学・新潟薬科大学・新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部の4大学の学生が



編集会議の様子

中心となり、新潟日报社様・第一印刷所様のご協力のもとで制作しています。第2号となる今回は3月から企画を開始し、総勢31名のメンバーでアイデアを出し合い、取材を重ねて完成に辿り着きました。今回は平日の授業の合間や放課後に一息つけるカフェなどの紹介に始まり、新潟市内・加茂・弥彦・新津エリアの街歩きルートを提案する構成です。ページごとにこだわりが感じられ、飽きのこない紙面になっています。各大学のキャンパスと新潟日報メディアシップ

#### 編集長より

Vol.2の立ち上げ会議の際、生意気にも「もっと学生主体でやらせてください」と発言した私たちを信頼し、また期待してくださった関係者の方々のおかげで、前号以上に「私たちの」Ricercaになったと感じています。デザイン班の頑張りや第一印刷所様のお力添えによって、配布会では「おしゃれ!」「かわい

にて配布されていますので、見かけたらぜひ手に取ってご覧ください。

い!」という反響をいただくことが出来ました。「もらっていいですか?」と向こうから手を伸ばしてくれたり、道行く人が小脇にRicercaを抱えている姿が目に入った時、達成感と感動で胸がいっぱいになりました。完成までサポートしてくださった方々、また、私たちの取材に快く対応してくださった皆様に深く感謝申し上げます。 臨床心理学科3年 佐藤葵



## 2年間の学びを締めくくる晴れ舞台

### 人間総合コース第15回教科発表(ファッションショー)

12月21日(土)、ANAクラウンプラザホテル新潟において、人間総合コースでファッションを学ぶ2年生による教科発表が開催されました。発表者11人の学びの集大成となる晴れ舞台です。今回は長年指導にあたってきた小川秀子教授の退任前最後の発表でもあります。発表者の保護者・友人に加えて大勢の卒業生・教職員が会場に駆けつけ、例年にも増して盛大なステージとなりました。

約9か月間にわたり制作やステージ構成を準備してきました。全員で苦難を乗り越えショーを成功させることができ、忘れられないほどの達成感と安堵感を感じています。沢山の方々よりお力添えをいただき、本当にありがとうございました。 人間総合学科2年 袖山聖穂

今年度の教科発表をもって私自身が担当するファッションショーは最後になりますが、これまでお世話になりました方々に心より御礼を申し上げます。優秀な履修生に恵まれ、溢れんばかりの笑顔に包まれた幸せな時間のなかで、ファイナルステージを無事に創り上げることができたことを幾重にも感謝申し上げます。 人間総合学科 教授 小川秀子



小川教授を囲んで記念撮影



## 台風 19 号被災地支援活動に参加 Gakuvu 主催「台風 19 号災害」ボランティア活動

11月22日(金)～24日(日)、日本財団学生ボランティアセンター Gakuvu との連携による令和元年台風 19 号災害ボランティア活動に本学学生が参加しました。本学ボランティアセンターでは、10月中旬から街頭募金や被災地への資材搬出活動などに参加してきました。10月下旬からは、一部の学生が被災地の福島県いわき市・栃木県鹿沼市にたびたび出向いて活動を行っています。今回は本学がボランティアバスを手配し、現役生のほか OG・職員ら計 18 名で福島県いわき市を訪れました。現地では床下の泥出しや床板ふきの作業、災害ボランティアセンターの補助など様々な角度から災害支援を実施。災害発生から約 1 ヶ月半が経過しているとはいえ、清掃が終わっていない家屋はまだ多く、道端に未処理のごみが積み上がっており、継続的な支援の必要性を感じさせる状況でした。参加した学生からは「今後も募金や物資搬送の手伝いなど、自分にできる範囲で支援を続けていきたい」との声が聞かれました。



12月18日に活動報告会を開催

## 実践を研究につなげる方法論を学ぶ 新潟青陵学会 第 12 回学術集会

11月2日(土)、新潟青陵学会 第 12 回学術集会が開催されました。今回のメインテーマは「実践と研究の深化を目指して：方法論を学ぶ」。基調講演は岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 教授の 頼藤 貴志 先生をお招きし、「疫学方法論とその応用：水俣病の事例を通して」というタイトルでご講演いただきました。頼藤先生は専門の疫学を用いて、胎児性水俣病患者と同時期に水俣地域で生まれた人の多くに認知機能低下が認められることを明らかにされ、注目を集められた方です。先生からは疫学に関する体系的な説明とともに、ご自身の水俣病研究を

紹介いただき、本学教員・学生のほか、新潟水俣病に関わる医師・弁護士・マスコミ関係者も熱心に耳を傾けていました。

午後は中平 浩人 教授(看護学研究科)の司会進行のもと、シンポジウムを開催。斎藤 まさ子 教授(看護学研究科)・関谷 昭吉 准教授(社会福祉学科)・浅田 剛正 准教授(臨床心理学研究科)の3名がシンポジストを務め、現場での体験を研究につなげる方法論や難しさについて発表の後、活発な議論が繰り広げられました。このほか看護・福祉・心理の各領域から 11 題のポスターセッションが行われました。発表者は在校生・卒業生に加え、臨床現場で働いている現役の



岡山大学・頼藤先生による基調講演

## 他大学の学生と社会人基礎力を磨く 1DAY トライアルワーク

11月2日(土)、本学を会場に「1DAY トライアルワーク」が開催されました。このイベントは新潟市産学官連携・市内就労促進事業の一環として毎年恒例の取組です。学生たちが地元企業を知り、かつ社会人として求められる素養(=社会人基礎力)を高めることを目的としています。今回は市内に本社を置く企業 3 社の協力のもとで行われ、県内国公立大学から計 33 名の学生が参加しました。学生たちは 3～4 名でチームを組み、企業から提示された課題に臨みます。これから職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために、他大学の学生や企業担当者と意見を交わしながら提案を練り上げ、チームごとにプレゼンテーションを経験しました。学生からは「新潟の魅力を見ることができた」「顧客視点から商品を考える難しさを知った」といった声が聞かれ、地域の魅力や自身の課題に気づききっかけとなったようです。



## 卒業生が集い、学生時代を懐かしむ 看護学科ホームカミングデー

11月23日(土)、看護学科として初の「ホームカミングデー」が開催されました。本学で学び、巣立っていかれた卒業生の頑張りを見届けるとともに、今後のご活躍を祈念して企画されたものです。当日は第 1 期から第 16 期までの卒業生 25 名と、退職者を含む教員 21 名が集まり、学生時代を懐かしく語り合いました。会の途中、数名の参加者から現在・過去・未来をテーマにスピーチをいただきました。それぞれが語る卒業後の経験談、現在の仕事に対する思いとこれからのビジョンは、卒業生同士、大変よい刺激となったようです。次回は 2021 年に開催を予定しております。

## 最近の“就活”のトレンドを解説 短期大学部保護者懇談会

11月23日(土)、短期大学部保護者懇談会を開催しました。就職活動の本格化に備えて実施している恒例行事です。保護者の皆様に就職活動の全体像と流れを把握していただき、ご家族まで含めての就職支援態勢を整えることを目的としています。懇談会は 2 部構成で行われ、第 1 部は「親が知っておくべき“シューカツ”のお話」と題した講演会と、県内企業人事担当者のパネルディスカッションです。採用方針や採用したい人物像に関する人事担当の生の声に、多くの保護者様が真剣な面持ちで耳を傾けていらっしゃいました。第 2 部は各学生のアドバイザー教員との個別懇談。普段の学内での様子を間近で見ている教員と相談しながら、それぞれの学生に最適なキャリアを探ります。今後、短大 1 年生対象のセミナーが目白押しとなります。学生たちが社会人として飛躍できるよう、精一杯キャリア支援に努めてまいります。



## 「高等教育の修学支援新制度」の対象機関となりました

新潟青陵大学及び新潟青陵大学短期大学部は、2020年度に開始される「高等教育の修学支援新制度」の対象機関となりました。本制度は住民税非課税世帯、及びそれに準ずる世帯の学生を対象に、①授業料減免と②給付型奨学金の支給によって進学に伴う経済的負担を軽減するものです。制度の詳細については文部科学省ホームページをご覧ください。

## 2020年度行政保健師採用試験合格状況（2019年12月現在）

本学看護学科の保健師課程では、様々な分野の実務経験を持つ教員による実践的な指導のもと、地域に暮らす人々の健康課題に対応した看護活動を学んでいきます。採用試験や国家試験対策へのサポートにも力を入れ、めざす将来の実現に向けて丁寧な指導を行なっています。今年度は2019年12月現在で計10人（全て現役生）が合格しています。

【県内】6人 | 新潟市1人、長岡市1人、胎内市1人、五泉市1人、魚沼市1人、妙高市1人

【県外】4人 | 福島県1人、福島県柳津町1人、山形県酒田市1人、茨城県鹿嶋市1人



## 2020年度養護教諭教員採用試験合格状況

本学看護学科には養護教諭一種免許を取得するコースがあります。本学は人数制限を設けず、所定科目の単位を取れば免許状を取得できることを特徴としています。年度によっては3割程度の学生がこのコースを履修することもあります。

今年度は計11人（既卒者含む）が合格しました。内訳は以下のとおりです。

【新潟県】現役学生2人／卒業生2人 【新潟市】現役学生3人／卒業生4人



## 10月新任教員

山口 恵子

福祉心理学部 助教



保育領域における「言葉」や実習等の授業の他に、全学共通科目である文学・国語を担当いたします。学生たちが言葉の世界の豊かさを味わい、それを通して社会に貢献できるように、教育・研究に励んで参りたいと思っております。

早川 佑美

看護学部 助手



本学の看護学科を卒業し、総合病院や介護保健施設で看護師として勤務していました。今までの経験を活かしながら学生の指導にあたり、私自身も学生と共に考え、学びを深めていきたいと思っております。

## 9月末退職教員

足立 正道（大学院臨床心理学研究科 准教授）

高橋 司（短期大学部人間総合学科 助教）

最新情報はこちらから



公開講座ページ



公式 facebook

## 編集後記

NIIGATA SEIRYO NEWS 2020/1 January No.23

今号はファッションショー（長くご担当いただいた小川 秀子教授のファイナルステージとなりました）や学生自ら企画・実施する青空祭、ボランティア、他大学の学生と共同制作したフリーペーパーなど、学生の活発な活動に加え、全国国民文化祭にいがた大会委託事業「ヒューマンライブラリー」、そして今回新たに実施された看護学科卒業生対象ホームカミング

デーなどの様子もお伝えしています。16年前卒業の第1期生から昨年度卒業生までが参加したホームカミングデーに私も参加させていただきましたが、懐かしくも頼もしく成長した卒業生の姿に感激するとともに、先輩・後輩が楽しそうに懇談する姿に、改めて「タテ」の交流の大切さを感じました。本キャンパスが在学学生・同窓生・教職員の交流と新たな学びの場となるよう、さらに努力してまいります。（事務局長 栗林克礼）